

愛媛若葉ひろみ句会

今落ちて流れに乗りし椿かな

大川 眺春

こぼしりに土手ゆく人や花の雨

毛利 敦

風に舞ひ陽にはゆ落花たとえなし

小西 あや

夕桜城垣うつす水平ら

梶原 一美

清流に落花眺める至福かな

松岡 寛孝

花散りし名もなき山にもどりけり

伊藤 京

青柳や仕立て下ろしの服を着る

井谷 けい

花大根少し置いてと夫に請う

福本 恵子

落ちつかぬ日や陽炎も吾の影も

浜田 千鶴

ぬれて行く巡礼の背に花の地図

高田 弘子

入学式大きな声と大あくび

藤田 光子

朝焼けの神秘の一瞬カーテンを握りしままに息を飲み込む

佐々木登美子

大差にて若き町長の選ばれて吾が鬼が町に光来向ふ

武田 幸子

男は針女は糸の生活と婚礼の夜の夫の希ひ成りたるか

蛭谷 寿子

朝食は芋粥なりし頃思う料理競争テレビを観つつ

高田 治子

春霞みかもめ群れ飛び安らぎて釣船一艘波間にゆるる

兵田トミ子

白鳥の姿見たくて遠廻り一年振に堤防を歩む

二宮 安恵

採血の結果にせずみ落ち込みぬ山の鴉の鳴く声はげし

伊手リツエ

神官の打ちたまう太鼓ちからつよく胸にひびかい年新たまる

山本まつゑ

消防士姿りりしい出初式五色の水でフィナーレ飾る

西添 春子

土筆芹蔵せんまい路の躰逢とうとなど春を捜せり

芝 幸子

広見短歌会

Grace's Story 【No.5】 「Cherry Blossom」

今年の春、私は初めて日本の桜を見ました。2年前、東京に留学していたときは秋だったので目にする事ができず、その頃から1度桜を見てみたいと夢見ていました。

少しずつ桜のつぼみも膨らみ出し、「いつ咲くのかな」と毎日桜の木を楽しみに眺めていました。桜の花も咲き始め「早くお花見がしたい」という思いと裏腹に、連日の雨でなかなかお花見ができませんでした。やっと晴れ間を見つけ、ピザを食べながら念願のお花見をすることができました。

桜の木の周りには菜の花もたくさん咲いていて、日本の春らしい美しい光景でした。時折、桜の花

びらが落ち葉のようにひらひらと舞い落ちたかと思えば、風の影響で竜巻のように吹雪いたり、とても幻想的でした。

桜が咲く時期は一瞬。刹那的な印象を受け、日本ならではの感情を体感することができました。英語でいうと「Bittersweet」という言葉が当てはまります。意味は「悲喜こもごも」。日本の春は、時間の速さと尊さについて考えさせられるとともに、私の夢を叶えてくれました。



鬼北町外国語指導助手
通称：グレース
アメリカ合衆国ノースカロライナ州出身
※毎週木曜日、英会話教室を開講しています。

